

	平成 30 年度国立公園満喫プロジェクト霧島錦江湾地域協議会 議事録			
日時	平成 31 年 1 月 30 日 (水) 13:30~15:00			
場所	霧島市役所別館 4 階 大会議室			
出席並びに 欠席委員	所属	役職	氏名	出欠等
出席 24 名 欠席 1 名	九州農政局	農村振興部農村計画課長	松澤 智亮 (代理)	○
	九州森林管理局	計画保全部保全課長	矢島 欣也 (代理)	○
	九州地方整備局	事業調整官	堀 康夫 (代理)	○
	九州運輸局	観光部長	宇都宮 博文	○
	九州地方環境事務所	九州地方環境事務所長	岡本 光之	○
	宮崎県	環境森林部長	甲斐 正文	○
		商工観光労働部観光経済交流局長	酒匂 重久 (代理)	○
	鹿児島県	環境林務部長	藤本 徳昭	○
		PR・観光戦略部観光課観光地整備 対策監	木佐貫 浄治 (代理)	○
	都城市	商工観光部みやこんじょ PR 課長	別府 雅彦 (代理)	○
	小林市	市長	宮原 義久	○
	えびの市	副市長	杉元 真一 (代理)	○
	高原町	まちづくり推進課課長補佐	平川 昌知 (代理)	○
	鹿児島市	観光交流局長	山口 順一 (代理)	○
	指宿市	産業振興部観光課参事	嶺元 和仁 (代理)	○
	垂水市	水産商工観光課長	二川 隆志 (代理)	○
	霧島市	市長	中重 真一	○
	始良市	企画部長	宮田 昭二 (代理)	○
	曾於市	商工観光課長	荒武 圭一 (代理)	○
	湧水町	商工観光課長	三堂 誠一郎 (代理)	○
	南大隅町	町長	森田 俊彦	○
	(一社)九州観光推進 機構	企画部長	鬼木 幸雄 (代理)	○
	(公財)みやざき観光 コンベンション協会	観光推進局国務誘致部長	杉尾 重和 (代理)	○
	(公社)鹿児島県観光 連盟	国内誘致部長	瀬戸口 一啓 (代理)	○
鹿児島県旅行業協同 組合	旅行事業部長		×	
協議会事務 局・説明者	九州地方環境事務所	国立公園課長	小口 陽介	○
	九州地方環境事務所	国立公園保護管理企画官	川瀬 翼	○
	九州地方環境事務所	国立公園利用企画官	村山 巖	○

13:30 開会

環境省九州地方環境事務所
岡本所長

【開会の挨拶】

皆様本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。本当にご多忙の中、小林市長様、霧島市長様、南大隅町長様をはじめ各市町村の方々には大変なところをおいでいただきましてありがとうございます。また関係の国の機関を含めまして両県の方々もありがとうございます。

ご存知のように国立公園満喫プロジェクトにつきましては、2020年を目標としております。2016年12月にステップアッププログラムを策定させていただきましたが、ちょうど2年がたって折り返し地点というところがございます。本日の改訂に関する件につきましては色々と細かな点もございますけれども、やはりこの2年間で国立公園の観光を、国立公園としての魅力を世界の方々、国内の方々にどうやって伝えていくか、それを地域振興に繋げていけるか、改めて皆様の輪の中で話し合っていける場がまず持てたということ非常に大きかったと思います。

いくつかの点では進捗が見られたと思っております。後ほど資料でも出てまいります。ただやはりこの2年間でまだまだ課題が山積していると認識しております。後ほど事務局からご説明させていただきますが、どんなに魅力があってもそこにたどり着けなければお客さんが来ていただけないという点がございますので、一つには二次交通の問題をどういう風にしていくか、公共交通機関にだけ頼るといふ点では難しい側面がございます。

ただそういった点を国立公園キーワードとしながら二次交通の改善がもし図られる場合には、地域の方々にも利用していただけるようなことにも繋がっていかないかという点もございます。あるいは個人旅行が増えてきております。地元にお金を落とさせていただくのも、やはり個人旅行でじっくり来ていただくお客様方と思っておりますので、そういった方々がどうやって目的地に来ていただけるような工夫ができるかといったことがあります。もうひとつは単に自然あるいはおいしい食べ物というのが、見て終わるのではなく、結びつけながら日本の国立公園の魅力というのは人々が住んでいる中に国立公園があるということがございますので、地域の文化あるいはおいしい食べ物と国立公園を結びつけながら国立公園の外も含めていい体験をしていただくといったことができないかと、そういった点を含めた様々な体験メニューをもう少し進展するといった点も課題として残っていると思います。

それ以外にも様々な課題がございますけれども、是非、あと2年間それはその先を見据えてこの2年間で終わる訳ではございませんの

<p>宮崎県環境森林部長 甲斐氏</p>	<p>で、先を見据えて集中的に何を行っていくべきか、そういったことを皆様のご意見をいただきながら私どもも一生懸命進めてまいりたいと思っております。今日は忌憚のないご意見をいただければと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>宮崎県環境森林部長の甲斐と申します。開会にあたり宮崎県側を代表しまして一言ご挨拶を申し上げます。行政の皆さまにはお集まりいただきまして感謝申し上げます。</p> <p>ただ今の所長のお話にもありました通り、国立公園満喫プロジェクトは平成 28 年にスタートし、取り組みの基本方針となりますステップアッププログラム 2020 を基本としてそれぞれ構成員の皆さまにより、例えば、利用施設の整備や海外に向けたプロモーションなど様々な取り組みが行われたところであります。プロジェクト開始から 2 年経過しましたが、利用者数につきましては順調に増加し取り組みの効果がでていると感じているところであります。</p> <p>しかしながら霧島地域におきましては、1 月 18 日に新燃岳の噴火警戒レベルが引き下げられまして、登山道等の規制が一部解除となりましたが、昨年 4 月に 250 年ぶりに噴火した硫黄山の影響もありまして、えびの高原にあります足湯の駅などの施設が今年 4 月から休業になるといったことが発表されるなど、今後厳しい状況になるのではと懸念もしている所でございます。</p> <p>そのような中ではありますが、このプロジェクトを進め国や関係市町と連携しながら利用施設や登山道の改修といった様々な環境整備に取り組むことで訪日外国人を含む観光客の誘客に繋げていきたいと考えております。</p> <p>本日は昨年の 6 月に行われました専門家による当プログラムに対する中間評価も参考にしながら、ステップアッププログラム 2020 の改訂について皆様方と意見交換を行いまして、また、このプロジェクトの取り組みが本地域に大きな成果を残すことができるよう構成員一丸となって取り組んでいければと考えております。</p>
<p>小林市 宮原市長</p>	<p>ご紹介いただきました小林市長の宮原でございます。それぞれの地域というのがやはり一番思い入れがありますので、その地域のいいものをお互い協議しあいながらこの地域の観光の振興に繋げていかなければならないという風に思っておりますが、丁度この霧島山もえびの高原あたりから夜中に星空を見ると大変綺麗です。やはりそういったものをいろんな形で発信するもの夜中に行けというのがどうなのかという話にもなりますが、自分のところの庭から見ても相当</p>

霧島市 中重市長

流れ星が流れますけど、そういったものが標高の高い所から見るともっと綺麗に見えるだろうなという風にも考えております。

私自身も県議会議員をやらせていただいた経験もありまして、東南アジアの各国と観光誘客の関係で現地の方と話をさせていただく中で、鹿児島、宮崎連携を取るということがないと、その地域の単発でそれぞれ宣伝しておりますが、中々それは相手方に伝わらないというような状況を感じたところでもあります。

皆さんの地域それぞれ良いところを持っていると思いますが、例えば表示のあり方一つにしてもそれぞれの自治体それぞれの地域で色んな企画はされると思いますが、できればこの地域全体がどこに行っても大体同じような表示というものがあつた方が、たぶん他所から来られた方には非常に優しいということになるのではないかと考えておりますので、精一杯この地域発展のためにお互い加盟されている皆様と知恵を絞りながらこの地域の発展に頑張っていきたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。

霧島市の中重でございます。本日は本年度第一回目の霧島錦江湾地域協議会を本市で開催していただきありがとうございます。

さて、先程宮崎県の甲斐部長からもありましたが、新燃岳が噴火警戒レベル2から1に引き下げられました。ただ、霧島市におきましては登山道も壊滅的な状況でございますので、実際の立入禁止区域の変更はございませんでした。昨日は霧島神宮温泉郷観光協会の新年会に出ておりましたが、そういった方々からも是非早い段階での登山道の復活等要望も受けたところがございますので、また国県関係機関のご協力をいただきながら早期に登山ができるように、縦走ができるように取り組んでいければという風に考えているところでございます。

また、霧島市におきましては、特に外国人観光客を誘致する際に必要不可欠と言われている超高速ブロードバンドの整備につきまして、昨年9月議会でも補正予算を組みまして3か年の計画で中山間地域の超高速ブロードバンドを整備する方針で決定したところでございます。

第一期だけでも8億5千7百万と大変大きい金額で整備してまいります。その際は是非観光施設、特に公共の国や県の観光施設はブロードバンドが繋がった際にはWi-Fiを整備していただいたり、プログラムに載ってない案件かもしれませんが協力して観光客の誘致に取り組めればという風に考えております。

今年はラグビーワールドカップ、そして来年はオリンピック・パラリンピック、鹿児島県においては国体ということで国内外の観光客を

南大隅町 森田町長

呼び込む大チャンス時でございます。これからも協力して皆さんと一緒に観光客誘致に取り組んでいければと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。

南大隅町長の森田でございます。本日はお招きいただきましてありがとうございます。また、環境省の計らいの状況の中で観光を語れるようになったことが非常に素晴らしいなと思っておりますし、県の林務の方々も来られて観光と一緒に語れるというのは非常に前向きな前進になっているだろうと思っております。

南大隅町は大隅半島の先っぽでございます、佐多岬と雄川の滝があります、何かついでがあつて寄るところではなくて明確な目的がないと半島の先っぽまで行くということはまずないわけでございます、今回、西郷どんのお陰でタイトルバックに雄川の滝がずっと出ていたものですから全国区で有名になった状況でございます。これも国立公園にいち早く編入させていただいたお陰であると思っております。ただその前から民間金融機関のポスターやカレンダー、南九州カレッジの方で各エージェントにお披露目する、それと女子大生だとか若い方が SNS で情報拡散していただいた、そういう運びが非常に大きい部分があるかと思っております。個人客が目的意識をもってインスタ映えするような写真を撮るだとか、そしてまたそれに合わせてご当地のスイートを作ってやっていったというような状況でございます。

今、雄川の滝が 2～3 年前からしますと大体 3 倍ぐらいの来客数で 16 万人になっています。1 年を通すと 20 万人に行くのではないかと、こんなに目的があつて来ていただける方がいらっしゃれば非常に助かるなと思っております。

佐多岬の方も環境省と県の整備のお陰で今年 3 月にグランドオープンが控えています。その節に Wi-Fi の整備もできたことを非常に我々としても良かったと思っております。

ただ、西郷どん効果と考えますと 3 月までかなと考えておまして、先だつてご当地の映画「きばいやんせ！私」を作り、3 月から全国ロードショーが始まります。これがまた佐多岬を全国まで広めていただけるのではないかと我々も考えている次第でございます。

今後も色々と課題もあろうかと思いますが、5G どころかまだ 4G も入っていない地域はいっぱいありまして、そういう部分では高速インターネットもしくは通信機器のインフラが非常に重要な状況だという部分と、また、今後のインバウンド対応等ここら辺も我々としても頭が悩ましい部分でもありますし国立公園全般に言えると思っておりますが、雨天時の観光客をどうやって楽しませるかというのが我々として

<p>事務局（村山企画官）</p>	<p>も課題になっているという状況でございます。本日はどうかよろしく お願い申し上げます。</p>
<p>事務局（小口課長）</p>	<p>出席者の紹介</p> <p>議題1 地域協議会設置要綱の改正について説明 →質疑応答なし</p>
<p>九州農政局農村振興部地方参 事官 農村計画課長 松澤氏 (代理)</p>	<p>【新しく構成員として参画いただいた方々のご挨拶】</p> <p>九州農政局農村振興部農村計画課長をしております松澤と申しま す。農林水産省では満喫プロジェクトと同じように明日の日本を支え る観光ビジョンに位置付けられております、旅行客が農山漁村に滞在 いたしまして日本ならではの伝統的な生活体験、農村地域の人々との 交流を楽しむいわゆる農泊というものを推進している所ございま す。</p> <p>具体的には持続的にビジネスとして実施できる農泊地域を 2020 年 までに全国で500地域創設するという目標を掲げて農泊の推進に取り 組んでいるところでございます。今回から国立公園満喫プロジェクト 協議会に参加させていただきまして、国立公園利用者の増加と農泊の 連携というものについて議論させていただければと思いますのでよ ろしく願いいたします。</p>
<p>宮崎県商工観光労働部長 経済交流局長 酒匂氏 (代理)</p>	<p>宮崎県観光経済交流局の酒匂でございます。本来であればメンバー でございます商工観光労働部長の井出が参るところでございますが、 所用のため代理で出席をさせていただいております。</p> <p>霧島地域というのは世界に誇れる重要な観光地でございます。従い まして国立公園満喫プロジェクトとして環境の整備や誘客プロモー ションの魅力の創出に取り組んでいただいていること本当にありが たく心強い限りでございます。</p> <p>観光局といたしましても、ここにおいでの方々としっかり連携し ながら観光誘客に取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き 続きご協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>鹿児島県 PR・観光戦略部長 観光課観光地整備対策監 木 佐貫氏 (代理)</p>	<p>PR・観光戦略部の木佐貫と申します。PR・観光戦略部というのは昨 年度誕生いたしまして今2年目となっております。</p> <p>その中で観光課としましては、国内国外の誘客プロモーション、情 報発信等行っております。登山道、観光地のハード整備も行ってい まして環境林務部と協力しながら行っております。</p>

<p>事務局（川瀬企画官）</p>	<p>具体的には雄川の滝、佐多岬、高千穂河原ビジターセンターの運営等行っております。登山道の管理運営等も行っていますので引き続きご協力ご助言いただきながらやっていきたいと思っていますのでよろしく願いいたします。</p> <p>議題2「国立公園満喫プロジェクトの中間評価及び今後の進め方」について説明</p> <p>議題3「ステップアッププログラムの改訂」について説明</p>
<p>湧水町商工観光課長 三堂氏 (代理)</p>	<p>ステップアッププログラム 2020 の改訂のポイントとしてお話があったところですが、私が聞き損じた点につきましてはご了承下さい。この改訂のポイントにつきましては、資料4を基に改訂のポイントという形で説明がなされたということで、資料4の説明を求めてもよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局（川瀬企画官）</p>	<p>資料4に関しましてはご参考という形で説明させていただきましたが、基本的には資料3-2 ご説明させていただいた部分が大部分になるかと思えます。資料4を見ていただくと当然事実関係の修正等ございますし、4ページ5ページの入国者数等のデータの更新等もございます。その他21ページまでは基本的な考え方の説明もございます。それからリバイスの観点から修正しております。21ページ以降が具体的な取り組みということで赤字で資料4の中には掲載させていただいております。いくつかについては資料3に触れていないところもございますけれども、個別に説明というところになると少し時間がかかるかと思っておりますのでご参照いただくという形でご理解をいただければと思っております。</p>
<p>湧水町商工観光課長 三堂氏 (代理)</p>	<p>具体的な件については時間等もございますのでどうしようもないことだとは思っておりますが、実は湧水町の方では霧島山を中心とする5市2町で環霧島会議、先ほども連携しているということがありましたが、ここで協議会設立いたしまして環境面、観光面、防災面、広報面、教育面、農林部部門で各専門部会を立ち上げて故郷の山霧島と共存するために広域行政で取り組んでいるのが現状でございます。この中で特に防災部会では霧島山の自然災害等に対応するため避難道路の整備といたしまして、21ページの方に今回2020の改訂プログラムのある件では是非載せてくださいとご要望申し上げていたところですが、えびの高原線の県道103号線の整備促進を環霧島会は一つの課題として取り組んでいるのが現状です。</p>

<p>鹿児島県環境林務部長 藤本氏</p>	<p>整備後においては北薩地域から観光の流入ということも踏まえて、観光面も防災面も非常に大きな影響がどうかということで、また、鹿児島県宮崎県の両県議会議員の方々も確かなことだご理解いただきまして、両県の知事の方にも二共用区間の整備等について陳情活動等も行っていることが現状ですけれども、環霧島会議、満喫プロジェクト、本来の目的というのは別々にあるかと思いますが、最終的には霧島の山・故郷の山というのが私たち住民そして観光に来られる方そしてその恩恵を受けている方の霧島山との共存だと私は思っております。</p> <p>環霧島会議では県道 103 号線の新たなルートの見直しを検討していただきたいと議員の方々をお願いしている関係上、湧水町としては同様な問題として満喫プロジェクトの中でも是非取り組んでいただきたいと、この直接の改訂ポイントに入っていないなくても具体的な 21 ページの利便性の向上の中に新たなルートの開発として県道 103 号線の検討というのを入れていただきたいという提案です。</p> <p>県道 103 号線のご要望が地元からなされていることを私も承知しております。ただ所管部局が土木部にある訳ですけど、この区間というのは宮崎県と鹿児島県の県境が未開通という認識をしていますが、宮崎県も含めて関係機関と引き続き連携しながら課題があるということで協議をする必要があるというご回答でございました。</p> <p>そういったことを踏まえますと 2020 年を目標としているこの中に入れるのは、その段階にあるのかなと。時間軸を考えてご要望はご要望であると承知をしておりますして、土木部の方でも受け止めはしておりますけれども 2020 年を考えるとどうなのかなというのが私の意見ですね。</p>
<p>宮崎県環境森林部長 甲斐氏</p>	<p>鹿児島県の環境林務部からお話しにありました、私どもの県でも県土整備部を含めた庁内での問題意識の共有と公園区域であること、国有林であること、それぞれの関係機関もいらっしゃるため協議が必要なのかなと、問題意識は持っています。</p>
<p>事務局（村山企画官）</p>	<p>具体的な課題意識を共有しながらご要望を踏まえて調整していくということでご理解いただければと思います。</p>
<p>鹿児島市観光交流局長 山口氏（代理）</p>	<p>資料 3-2 で改定のポイント今後の進め方の基本的な視点に沿った見直しということで、①最大の魅力は自然そのものということでマイナス要因を取り除くなど、自然そのものの魅力を生かすことにより利用</p>

<p>事務局（川瀬企画官）</p>	<p>の促進と推進を図るとありますが、具体的に言いますと桜島については溶岩それが魅力だと思っていますが、自然保護地域に入っていることから松が成長してきてそのものが見えなくなっている。</p> <p>そういった場合にどちらを優先するかこれによって手続きをすれば伐採を許可してもらえるのかどうか。</p> <p>今回見直しということ でちゃんと説明をできれば伐採の許可をこのプログラムだったらいいですよと認められることになるのか確認したい。</p> <p>今後も違いがなくなってくるので緑を保護しないといけないのか溶岩を見せるというのが大事だと思っているのでそこのところお尋ねしたいと思ったところです。</p> <p>具体的には桜島地域でそういった要望があると伺っております。公園指定当時は溶岩原の中をバスが走るという非常にダイナミックな景観だったと聞いてございます。ただ国立公園としましては大正溶岩の上でございますと特別保護地区という指定を受けておまして、やはりその上に植生遷移していくこと自体価値も置いてございますので、例えば、ゾーニングの中で特別保護地区の中でも大きな伐開をするというのは非常に厳しいのかなと思っております。</p> <p>ただ一方で視点場から見える桜島であるとか、溶岩原の一部を少し見せるということに関しては国立公園の公園事業に位置づけられている視点場、例えば、展望台とかあるいは道路の脇の利用者が溜まるような視点場からその周囲の樹木を伐採して通景をするということに関しては是非積極的に行っていただきたいという風に考えていますので、そこは現場のゾーニングと必要性というところを考慮して、メリハリを付けてやっていくのだろうと考えています。</p>
<p>鹿児島県環境林務部長 藤本氏</p>	<p>桜島の松については、数年前にマツクイムシで松が枯れるという状況があり林務の方では桜島の松は重要な松林ということで、薬剤の散布も含めて保全を図っているということもありますので、具体的に場所はどこなのかというのがありますが、一方保全もしている状況の中で伐採していいのかという部分はまた保全の観点からと観光誘致の観点から考えていかなければならない課題かなという風に思っています。</p>
<p>鹿児島市観光交流局長 山口氏（代理）</p>	<p>また個別に相談いたします。</p>

霧島市 中重市長	<p>先程、国立公園の訪日外国人利用者の満足度アンケート調査を見て霧島錦江湾の 24.1%に驚いたところですが、私たちが普通のインバウンドから取るアンケート調査結果とはあまりにもかけ離れているものですから、標本数の 104、242 この程度のアンケート数なのか、まずそこを教えてください。</p>
事務局（川瀬企画官）	<p>国立公園の中でアンケートを取っておりますが、昨年度の冬から回収しております、アンケートの回収数が伸びなかったという状況がこのところでございます。</p> <p>標本数については 104、242 が正しいところございまして、今年度からは 200 以上を確保するよう考えております。</p>
霧島市 中重市長	<p>十和田八幡平は 58 とか日光でさえ 107 とかで 242 取っている霧島が下がると、これが出るんですか外に。普通に霧島に来られる方、インバウンドで来られる方のアンケート結果を見ても国立公園に行かれた方に限ればこういう数字が出るのかもしれないですけど、あんまりではないかというような思いもあります。</p> <p>正直言えば霧島錦江湾に言えば鹿児島空港国際線ターミナルことなど色んな問題が出てくるでしょうけど、国立公園その辺も全ての国立公園しっかりと同じようなデータを取ったうえで出してもらわないと、これを基に改善していくというプラスの面とこれが先に出てイメージが悪くなるという面といろんなことが考えられますので、その辺はしっかり精査したうえで今後はデータを出してほしいという風に思いますのでよろしくお願いします。</p>
環境省九州地方環境事務所 岡本所長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘のように標本数が少なくどちらかという面談を行ったということなので厳しめの意見が出るということもあるかと思えます。特にこの数値でその地域の印象をということではございません。これを何か発表しているということではございません。むしろ私どもの中でどういったことを改善していくべきか、仰られたように改善点を見い出していくという視点でどういった項目を改善すべきかということ参考にして行きたいと思っておりますので、数字の扱い等については気を付けてまいりたいと思っております。他の地元で行われているようなアンケートでもっと満足度が高いということ少しほっといたしました。逆にどういった点が満足いただいているのか、逆に伸ばしていく点そういったこともまたお伺いしていきながら良い点を伸ばしていくという風にも考えていきたいと思えます。</p>

<p>霧島市 中重市長</p>	<p>宿泊施設でいえば観光で来るお客さんはほぼゴルフですので、国立公園も4泊来て5日ゴルフして帰っていくというような方々ですし、その方々と観光協会の会にも出ましたが宿泊施設にしろ食事にしろ非常に満足されているというようなお話を聞いた中で、宿泊施設にこれだけしか満足できてないですよという風に伝えられる数字なのかどうかということも含めて、面談でしたら本当にちゃんと各国立公園同じような形で面談をしていただかないと、面談する人のやり方だったり主観だったりそういうことによって変わってくることもありますので、そういったことも含めてしっかりとしたデータを取っていただいて、じゃあまず短期的に何をしないといけないのか、中期的に何をしないといけないのか、長期的に何をしないといけないのかそれが本当に分かるようなデータ、今後に結びつくデータを取っていただければと思います。</p>
<p>九州地方整備局 事業調整官 堀氏（代理）</p>	<p>12 ページ（資料4）の目標値が2020年には20万人と書いてありますが、色んな施策の組み合わせによる目標だと思うが一番どういうことに重点を置くと20万に近づくのか。</p> <p>例えば、二次交通が不足しているからそれを増やせば、あるいはプロモーションでもっとアピールすればいいのか、国立公園内に魅力ある体験施設を増やせばいいのか。</p> <p>ざっくりとしたことでもいいですが、7が20になるためには何が一番効くことなのか20年すぐですので小さい積み上げをしてもそこは埋まらないと思うので多く増やすには何をしたらいいでしょう。本当はこちらで答えを用意したうえで言わなければいけないと思いますがその考えがあれば教えていただきたいと思っています。</p>
<p>霧島市 中重市長</p>	<p>7万人から12.9万人まで順当に増えてきたが、鹿児島空港国際線ターミナルはこれから増やせるかと考えた時に、これ以上路線を増やせないということを考えればここから先どれだけ上がるのか話を聞いていて疑問です。</p> <p>例えば福岡空港からの客をどれだけ引っ張ってくるのか、そもそも入口が狭く限界に近付いている中でこの2020年には20万人に上がるためには何が必要かと思う。空港所在地の霧島市としても気になりますので教えていただければと思います。</p>
<p>事務局（村山企画官）</p>	<p>誘客については総合力という問題もありますので鹿児島も進めている国際線LCCの発着の問題やクルーズ船そういうものもあります。</p>

	<p>鹿児島市が取り組んでいるプロモーション、それから確かにラグビーワールドカップもございますしオリンピックもございますという中で確実に外国人観光客が増えてきております。</p> <p>今年も 3 千万人を突破したとその中で日本に来た外国の観光客の方々がこちらに来るたびに誘客は絶対に必要ですのでそういうプロモーションも充実させていくと。それとやはり一つの観光客の流れの中でいわゆるゴールデンルートと言われる地域、東京、大阪、京都、広島、金沢こういうところに個人的に遊びに行ってもかなり外国人が溢れております。そういう方々をどうやって鹿児島に持ってくるかそういう視点でこれはもう環境省だけの問題ではなく観光庁も含めて鹿児島県各自治体もプロモーションに取り組んでおられますので、その中で増やしていく取り組みが必要だと思っております。</p> <p>国立公園の中では体験コンテンツを充実させていくとか、参考資料をお渡ししましたがそういうコンテンツを今増やしておりますので外国語化も含めてPR しております。それから二次交通がございます。</p>
<p>事務局（川瀬企画官）</p>	<p>この観点に関しては環境省も観光誘客のプロといえるほどではないので是非観光部局等含めてご意見いただければと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
<p>鹿児島県 PR・観光戦略部観光課観光地整備対策監 木佐貫氏（代理）</p>	<p>県の観光課でございます。県では宿泊人数ということで訪日外国人をカウントして 74 万人が昨年平成 29 年に来ております。</p> <p>この利用者は訪れたということで宿泊も含まれてないと認識しておりまして、クルーズ船は宿泊しないものですから 74 万の中には入っておりません。クルーズ客を霧島錦江湾の国立公園のどこかに引っ張ることはツアーを企画すればできると考えています。</p> <p>昨年は西郷どんという 150 年という大きなコンテンツがあったのでそれに乗っかっていたのですが、今後は訪日外国人を引っ張り込むことが大事だろうということを考えています。県としましてもラグビーワールドカップと欧米豪ですね、アジアだけでなく欧米豪をにらんだ誘客をしていこうと。国立公園だけではなく全体的に誘客をしていきたいと。特に FIT が多いので個人客をどう国立公園の方に引っ張るか環境省、各機関と連携してやらないといけないと考えております。</p>
<p>九州地方整備局 事業調整官 掘氏（代理）</p>	<p>クルーズ船は手っ取り早く 5000 人ぐらい来るので、宿泊は期待できないけど数だけ 20 万人くれば食べ物も食べるでしょうし、色んな料金を払うと思うのでクルーズは大きいのではないかとこのところ</p>

九州運輸局 観光部長 宇都宮氏	<p>レンタカーは福岡に来て割引のパスがありますけど、北の方ばかりなので南まで来る人数が圧倒的に少ないような聞きかじりのところですけど、この会で一緒にやっていくというところなのですが、皆様はどうか伺いたいと思いました。</p> <p>宮崎空港は鉄道が乗り入れていますので、情報発信というのがもう少ししっかりやればうまくいくのではないかと思います。</p> <p>先程の地図の中にも雄川の滝は非常に綺麗に出ていましたが、霧島のバスの実証実験をした時に大浪池も行ってますよね。大浪池なんて写真全く付いてないですよ。非常に良いコンテンツがあるのにこういったところを情報発信して外国人の観光客に来てもらおうと、例えば、二次交通と言われているが、二次交通がないと来ないというわけではありません。富士山は鉄道もバスも通ってないですよ。みんな徒歩で歩いている訳ですがたくさん来ていますよね。</p> <p>良いものを作れば来てくれるし、良いものを情報発信して非常に良く見せていくということも大事なことだと思っています。</p>
事務局（村山企画官）	<p>色々な課題も認識しながら情報共有していただけたと思います。こういうご要望も踏まえながら調整していきながらまたこの会進めていきたいと思っています</p>
事務局（川瀬企画官）	<p>議事4 国立公園満喫プロジェクト推進事業予算案について説明 →質疑応答なし</p>
南大隅町 森田町長	<p>皆様が一同に介してこういう協議をされる場があるというのは非常に良いことだと思います、ただ観光の連携を取るのはどうしても広域で上手く連携を取らなきゃならない状況だろうと思っています。</p> <p>大隅の方でいきますと今回 DMO が立ち上がっていくんですけど、わが町としましてもちょうど真向いの指宿市と連携を取らないと宿泊施設がどうしても足りない、その辺を指宿市と連携して win-win の関係を作っていく、それと南さつま市もサイクルをしていて台湾の方を誘致されていますけれども、錦江湾の一周コースを南さつまと我々が一緒にやったらどうだろうか、そうするとポイントポイントで行けるという話、また、国体を見据えて合宿誘致の部分でも考えております。色んな意味で連携を取りやすい仕組み作り、そういうものを今後また検討していただけると、我々もポイントポイントを絞りながらまた国立公園の中でも連携を取っていくということもできるのではなかろうかと思っています。</p>

<p>鹿児島県環境林務部長 藤本 氏</p> <p>15:00 閉会</p>	<p>【閉会の挨拶】</p> <p>鹿児島県環境林務部長の藤本でございます。平成 30 年度国立公園満喫プロジェクト霧島錦江湾地域協議会の閉会ということで一言ご挨拶を申し上げます。本日は大変お忙しい中ご出席を賜り長時間にわたりご議論いただき誠にありがとうございます。</p> <p>本日も質問していただいたステップアッププログラム 2020 についてはご了承いただいたということでございます。この改定につきましては霧島錦江湾国立公園満喫プロジェクトのさらなる推進を図りますために強化加速すべき4分野が示されますとともに新たな取り組み等も盛り込まれているところでございます。今後、国立公園満喫プロジェクトが目標としております世界水準のナショナルパークとしてのブランド化を図るためには改定後のプログラムに基づきまして各構成員の皆様方がこれまで以上に連携を深めながら着実に取り組みを進めていくことが肝要であると考えております。これらも踏まえまして皆様方にはそれぞれのお立場から引き続きご尽力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。最後に本プロジェクトを通じましてより多くの訪日外国人を含む利用者の方々が霧島錦江湾国立公園を訪れていただきましてその魅力を満喫していただくと、さらには改定後のプログラムに基づく関連の取り組みにより宮崎、鹿児島両県の地域の活性化が一層図られることを祈念いたしまして閉会のご挨拶いたします。</p>
--	---